

伊方発電所における通報連絡事象の報告書概要

1. 伊方発電所 平瀬守衛所の火災受信機盤の不具合について

事 象

6月8日4時29分、伊方発電所の九町越守衛所において、平瀬守衛所付近にある焼却設備の火災発生等を示す信号が発信したため、現場を確認したところ、火災は発生していませんでした。

調査の結果、平瀬守衛所の火災受信機盤が故障していることが確認されたため、故障した火災受信機盤を新品に取り替えて、同日20時20分に通常状態に復旧しました。

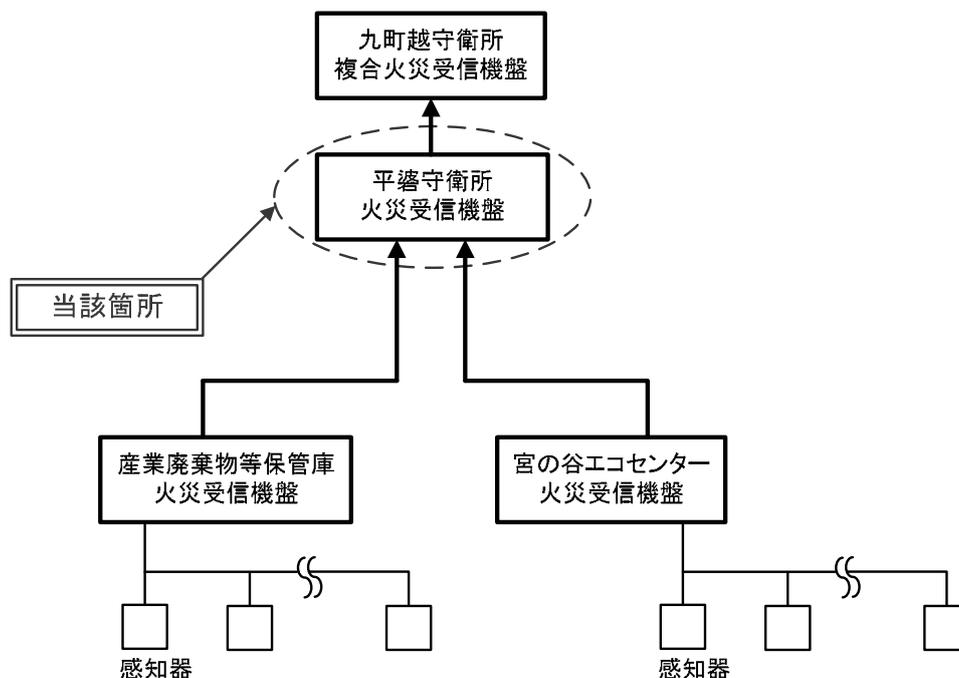
原 因

調査の結果、火災受信機盤の基板にある部品（半導体チップ）の製品不良により、火災受信機盤に不具合が生じたものと推定しました。

対 策

- ・火災受信機盤を新品に取り替え、正常に動作することを確認し、通常状態に復旧いたしました。
- ・定期的な点検（法定点検）を適切に実施するとともに、万一の故障時には、常時保管している火災受信機盤の予備品に速やかに取り替えます。また、復旧までの間は、これまでと同様に、監視カメラやパトロールによる監視を強化し、火災のないことを確認します。

伊方発電所 平瀬守衛所火災受信機盤 信号概略図



2. 伊方発電所3号機 海水淡水化装置RO高圧ポンプ軸シール部の海水飛散防止カバーの損傷について

事 象

6月19日定期検査中の伊方発電所3号機の海水淡水化装置において、運転中のRO高圧ポンプA号機の軸シール部の海水飛散防止カバーが外れていることを発見したことから、RO高圧ポンプA号機を停止し、同日16時40分頃、同ポンプ軸シール部の海水飛散防止カバーが損傷していることを保修員が確認しました。

点検の結果、軸シール部の主軸に取り付けられた軸端側のパッキンスリーブが主軸と平行方向に割れているのを確認しました。

その後、当該パッキンスリーブを新品に取り替え、RO高圧ポンプA号機の試運転を行い、7月24日19時11分、通常状態へ復旧しました。

海水淡水化装置の逆浸透膜（RO膜）に海水を高圧で送水するポンプ。逆浸透膜は、海水をろ過して淡水を作り出すもの。

原 因

調査の結果、海水飛散防止カバーの損傷は、パッキンスリーブの割れた部分より出てきた水の勢いにより、海水飛散防止カバーがずれて傾き、回転部と接触したことで、こすれたため、変形・変色が生じたと推定しました。

また、パッキンスリーブの割れについては、平成21年から分解点検計画を3年に1回から6年に1回に変更し、同ポンプを約6年運転したことで、応力腐食割れが小さなうちに発見できなかったため、割れが軸端部まで成長したと推定しました。

対 策

- ・当該のRO高圧ポンプA号機は、分解点検を実施してパッキンスリーブを新品に取り替え、ポンプ本体に異常のないことを確認しました。また、RO高圧ポンプB号機は、今後、分解点検を実施します。
- ・海水飛散防止カバーは、取り外してもポンプの運転には影響はないことから、取り外すこととしました。
- ・RO高圧ポンプA、B号機の点検頻度を、6年に1回から3年に1回へ変更します。

伊方発電所3号機 海水淡水化装置 概略系統図

